



園芸療法通信 2020年1月号

発行 内閣府認証 NPO 法人日本園芸療法士協会
〒061-2276 北海道札幌市南区白川 1814 番地
TEL 011-817-2950 FAX 011-817-8007

御挨拶

理事長 瀬山 和子

あけましておめでとうございます。平成から令和になって初めてのお正月です。弱者の方々の今後の指導に力が入ります。平成最後の年（平成31年）は、利用者の就労支援の技術指導面では、ほぼ落ちこぼれなく生産力を上げ、7月8月の店舗売上は前年度と比べると3倍にもなっていました。仕入れと商品のロスも殆どなく推移いたしました。毎日の点検と、利用者の出席率の高さもよい結果を生んだと考えられます。

その反面、新規で就労する利用者の中には大麻等やパチンコ依存症の人が目立ちました。数人ですが、解雇せざるを得ませんでした。その後も治らず放浪しています。そういった人は障がい者ということ隠れ蓑にしていることが多いので、今後の職業指導員・サービス管理責任者・管理者間の連携強化は必須であります。国からの障がい者年金と就労支援賃金という厚い支援を受けていることをふまえ、もっと実りある生活態度になってほしいと願っております。

振り返りますと、平成はかけ足で過ぎ去っていったように思います。令和も、更に多忙な毎日ですが、皆様もくじけず「一歩前へ」と前進を希望します。

～白川協会本部にほころが建つ～

令和2年を迎え、みなさまいかがお過ごしでしょうか。さて、当協会正園芸療法士および正園芸療法士の資格取得をめざして園芸療法を勉強中のみなさまに、会報誌「園芸療法通信」をお届けしております。

令和元年の大きな出来事としましては、11月3日に白川本部にほころを建て、北海道神宮のお札を入魂、立派に整備したことなどが挙げられます。この地は大正時代から結核患者が600名ほど亡くなっています。当協会の土地になったものの、若い人から年寄りの方々までが苦しんだ過去があり、園芸療法をする癒しの地に相応しく考えるならば、手を合わせる行為も必要かと思い、建立に至りました。

～令和2年施設整備予定～

4月	いちご栽培温室ハウス	整備予定
5月	畑拡大予定	
6月	大田青果市場せり買参権	取得予定
7月	園芸療法 病院出張	1件
	園芸療法 小学校出張	1件
8月	カンザス大学日本校計画	開始予定



今後も協会本部の動きや支部の活動等をお知らせいたしますので、どうぞよろしく願いいたします。